

地名にかかる情報技術に関する研究会

京都大学地域研究統合情報センター地域情報学プロジェクト 2014 年度第 2 回 H-GIS 研究会
国立情報学研究所公募型共同研究「GeoNLP プロジェクト：自然言語文を対象とした地名情報処理
とコミュニティの展開」第 1 回研究会
第 9 回人間文化研究情報資源共有化研究会

○主 催 京都大学地域研究統合情報センター・地域情報学プロジェクト「地域の知」の情報学—時間・
空間・語彙に注目した地域情報学の展開—
国立情報学研究所公募型共同研究「GeoNLP プロジェクト：自然言語文を対象とした地名情報
処理とコミュニティの展開」
大学共同利用機関法人人間文化研究機構・研究資源共有化事業委員会

○日 時 平成 26 年 7 月 19 日（土）13 時 30 分～18 時 00 分
（情報交換会 19 時 00 分～21 時 00 分）

○会 場 国立情報学研究所（学術総合センター）・12 階 1208 会議室
〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

（注）開催日が土曜日のため、建物への入口は、正面玄関ではなく建物に向かって右側の
通用口となります。

○開催趣旨

空間情報は研究資源の探索や解析に有効な糸口や手段を与えてくれる。この中で地名は、場所を特定するために最も古くから用いられてきた要素であり、歴史的な史資料も含めて空間情報を時間的に掘り下げてゆける可能性も持っている。しかしながら、地名を地理情報システム（GIS）や検索などの情報技術の中で扱おうとすると、緯度経度などの座標との対応付け、地名データの抽出、地名同士の時空間的な関係の表現など、さまざまな技術的な課題が浮かびあがってくる。

本研究会では、地名にかかる情報技術について、さまざまな研究組織が進めている取り組みを持ち寄りながらその課題を俯瞰しつつ、今後の可能性や展開についてワークショップ形式での討論を中心に行おうとするものである。

○プログラム

13:00 開場
13:30-13:35 趣旨説明 関野 樹（総合地球環境学研究所）

話題提供

13:35-14:05 歴史資料としての地名の活用
榎原雅治（人間文化研究機構/東京大学史料編纂所）
14:05-14:35 歴史地名辞書をいかに作るか？
桶谷 猪久夫（大阪国際大学）
14:35-15:05 資源共有化における地名の役割と時空間への展開
関野 樹（総合地球環境学研究所）

休憩（15:05-15:20）

15:20-15:50 地名情報処理環境 GeoNLP の紹介と歴史的な地名に関する課題
北本 朝展（国立情報学研究所）
15:50-16:20 地名データのセマンティック Web への応用
原 正一郎（京都大学地域研究統合情報センター）

休憩（16:20-16:35）

16:35-18:00 総合討論

19:00 情報交換会（21:00 終了予定）

○参加申し込み

- ・会場となる学術総合センターの警備の都合上、事前申し込みが必要です。参加を希望される方は7月10日までにご所属とお名前をお知らせください（申し込みが無い場合は、建物に入れません）。
- ・申込み多数の場合はお申込みいただいても参加をご遠慮いただく場合があります。あらかじめご了承ください。

○連絡先

人間文化研究機構 事務局企画課研究支援係
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階
(TEL) 03-6402-9235 (FAX) 03-6402-9240 (Mail) shien@nihu.jp

国立情報学研究所（学術総合センター）



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

全般に関するお問合せ先 電話番号：03-4212-2000（代表）

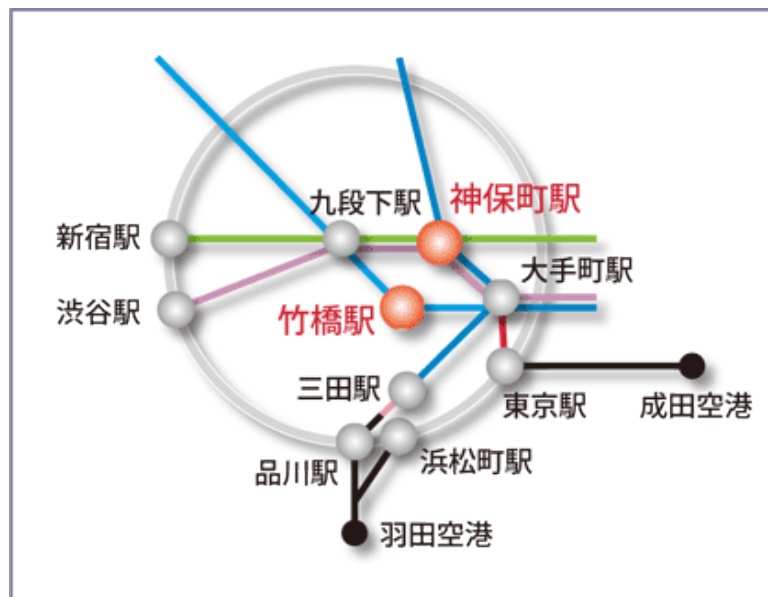
交通アクセス

東京メトロ半蔵門線／

都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」A9 出口

東京メトロ東西線「竹橋」1b 出口

徒歩 3～5 分



都営新宿線

東京メトロ半蔵門線

都営三田線

東京メトロ東西線

東京メトロ丸ノ内線

山手線